

企業・団体等のご寄付による リバティアカデミー公開講座の実施について（ご案内）

1. 寄付講座

- ・ 企業・団体、自治体等からの寄付金（あるいは委託金）により、開設・運営される講座です。
- ・ 講座名称に企業・団体、自治体等の名称を付すことができます。
- ・ 開設に関わる費用相当分をご寄付いただきます。
- ・ 寄付金は、「受配者指定寄付金」としてお受け致しますので、寄付金の全額を寄付した事業年度の損金とすることができます。 寄付金納入後に大学から送付する「寄付金受領書」が証明書になります。

2. 実施に向けての協議項目

1) 目的の設定・確認

- ・ 寄付者の企業理念・事業内容等の普及活動として
- ・ 寄付者のステークホルダーへのサービスとして
- ・ 社会貢献活動の一つとして
- ・ 地方企業、地方自治体における東京での情報発信として など

2) 受講対象者の設定

- ・ 社会人（ビジネスパーソン、経営者等）
- ・ 学 生
- ・ シニア層（アクティブシニア） など

3) 実施時期（スケジュール）

【参考】リバティアカデミー公開講座の実施サイクル

開講期	講座企画	委員会審議	講座案内作成	受講生募集	開講
春期	10月～12月	12月～1月	1月～2月	3月～	5月～9月
秋期	5月～6月	6月～7月	7月～8月	9月～	10月～2月

4) カリキュラム

- ・ テーマ、回数、内容、講師、定員（寄付者のご意向により柔軟に対応させていただきます）
- ・ 会 場（駿河台キャンパス [JR 御茶ノ水]、オンライン [リアルタイム・オンデマンド]）
- ・ 受講料（全額大学宛ての入金とさせていただきます）

5) 実施にあたっての役割分担（一例）

寄付者	1. 企画協力（講師の選任） 2. 広報（社内等関係者向け、お客様向け）
大 学	1. 企画（講師の選任、講座案の作成） 2. 講座案内の作成 3. 広報（リバティアカデミー会員向け、大学関係者向け、一般向け） 4. 受講受付、問い合わせ対応、受講料請求、受講案内送付 5. 会場手配、講座運営（講師対応、受講生対応、会場設営、開会挨拶・進行管理） 6. 教材作成・印刷・管理 7. アンケートの実施・集計、講師料の支払い

【参考】 寄付金による公開講座開催の実施イメージ

〈開催事例〉

	寄付額	講座回数	会場	広報
例 1	50 万円	1 回	アカデミーコモン 11 階教室 グローバルホール リバティホール (オンライン)	<ul style="list-style-type: none"> ・ HP 掲載 ・ チラシ作成 (DM・学内設置) ・ WEB 広告 (SNS 他)
例 2	51～100 万円	1～3 回	アカデミーコモン 11 階教室 グローバルホール リバティホール (アカデミーホール) (オンライン)	<ul style="list-style-type: none"> ・ HP 掲載 ・ チラシ作成 (DM・学内設置) ・ WEB 広告 (SNS 他) ・ 新聞広告
例 3	101 万円～ 301～500 万円 501 万円～	1～複数回 6～15 回 応相談	アカデミーコモン 11 階教室 グローバルホール リバティホール アカデミーホール (オンライン)	<ul style="list-style-type: none"> ・ HP 掲載 ・ チラシ作成 (DM・学内設置) ・ WEB 広告 (SNS 他) ・ 新聞広告 ・ その他広告
例 4	応相談	リバティアカデミー 一般講座 へのご寄付 (※参照)	アカデミーコモン 11 階教室 オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・ HP 掲載 ・ チラシ作成 (DM・学内設置) ・ WEB 広告 (SNS 他)

※ 明治大学の生涯学習・社会人教育機関「リバティアカデミー」が実施する一般講座（有料）へのご寄付も承っております。いただいたご寄付は受講料に還元し、受講生の経費負担を軽減することで、ご支援いただいた講座の受講促進に努めます。

〈本学のネットワークを活用した普及活動の実施例〉

NO	対象者	対象数	普及媒体
1	卒業生	約 55 万名	大学新聞「明大広報」、季刊誌「明治」 一部校友へのダイレクトメール
2	リバティアカデミー会員	約 2 万名	ダイレクトメール
3	学生	約 3 万 5 千名	学内イントラネット、パンフレットラック
4	在学生父母	—	父母会誌「暁の鐘」
5	一般向け	—	大学ホームページ TOP 掲載、WEB 広報、 その他有料広告掲載

以 上